

UKC ホールディングスが連結子会社の会計処理に係る損失計上見込額を公表 - 格付に強い下押し圧力

以下は、株式会社 UKC ホールディングス（証券コード：3156）の連結子会社における会計処理に係る影響額に関する発表についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

見解

- (1) 当社は7月18日、連結子会社における会計処理に係る影響について、全体として190億円程度の損失計上が想定されると公表した。当社は連結子会社である UKC ELECTRONICS (H.K.) CO., LTD. (UKC 香港) の特定取引先への前渡金および売掛金等の回収可能性に疑義が生じたことに伴い、17/3 期決算の公表を延期。17年5月に第三者委員会を設置して精査を進めていた。損失計上見込額のうち、UKC 香港において回収が懸念される前渡金および売掛金等に関するものが約90億円。また、17年3月に UKC 香港が取得した香港 Quatius Limited の転換社債について、取得の際に相殺対象となった売掛金の回収可能性に懸念があるほか、当該転換社債に付されている物上担保の権利行使の実効性にも疑義が生じていることにより、約100億円の損失が想定されている。
- (2) 想定通りの損失が計上された場合、財務構成は大幅に悪化すると予想される。当社の財務状況（17/3 期第3四半期末自己資本570億円）を勘案すれば、格付に強い下押し圧力がかかることは避けられない。一方、現時点で UKC 香港の監査は未了であり損失額は変動する可能性がある。JCR は第三者委員会の調査報告および収益、財務への影響、今後の収益見通しなどを確認の上、適宜格付に反映させていく。

（担当）関口 博昭・工藤 怜士

【参考】

発行体：株式会社 UKC ホールディングス
長期発行体格付：A- 見通し：安定的

留意事項

本文に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

本件に関するお問い合わせ先
情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル